

愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター

地域に根ざし、世界に開く



コラボ通信

第12号
2007年12月21日
BY 学生スタッフ

冬休みも
地域に一步
踏み出そう!!

CCCでは、私たち学生が「学生スタッフ」として来室する皆さんに対して、インターンシップ・ボランティアに関する情報発信を行ったり、質問や相談などについてのアドバイスを行ったりしています。

この「コラボ通信」も私たちが作成しています。
学生の皆さん、どんどんCCCを活用して下さいね!



しゅくエコとは、環境にやさしい行動をして貯蓄した EXPO エコマネーを地域貢献活動に活用するという全国初の試みです。

このプロジェクトは、センター科目「コミュニティ・サービスラーニング」の受講生が中心となり、行っています。

しゅくエコ

「クリーン&グリーン・マイ箸普及大作戦」企画運営

11月3日、「クリーン&グリーン大作戦」として、大学周辺のグリーンマップ（エコマップ）づくりと清掃活動を行いました。清掃をしながら大学周辺を回りエコマップを作るこの活動では、文化的なお稚子祭りがやっていたことや住宅地に公園が見当たらないことなど、皆と話しながら新しい発見ができました。またゴミの多さに驚き、ポイ捨て・分別に対する意識が変わりました。

そして11月4日、「さをり織りでマイ箸袋づくり」では来てくれた地域の方や子供達に織り方を教えるだけでなく、授業での活動やさをり織りなどについて話をしたり、一緒に写真を撮ったりすることでとても穏やかな気持ちになり勉強にもなりました。

このような経験は普段の生活ではできない貴重なものでした。
皆さんもぜひ学生生活で色々な活動に参加してみてください。

コミュニケーション学部 4 年 上河原直君

さをり織りに挑戦する参加者と上河原君→



エコのつぼみ活動報告

エコのつぼみは、中部電力(株)と協働し、環境啓発活動を行う学生団体です。今年度は、12名で活動を行っています。

大学祭にて森林体験☆MY箸装飾ブース出展

- 森林体験 破壊前と破壊後の森林を教室内に作成
- でんきの科学館体験 人力発電機などの体験コーナー
- MY箸装飾 森林伐採につながる割り箸削減のため
MY箸使用の呼びかけとしてオリジナル箸作り



エコのつぼみメンバー ↑ ↑

11月3日600名、4日650名の来場者がありました。

来場者の皆さんには、エコ宣言ということで、今後自分達が環境を守る為にできる事をメッセージの葉として残して頂きました。皆さんのメッセージは大きな木となり、私たちの活動のパワーとなっています。

でんきの科学館でのワークショップ開催

- MY箸装飾
- 豆つかみ大会
- 環境クイズラリー
大盛況でした→



11月10日、「でんきの科学館」にて行いました。準備した150膳のお箸に参加の方が自分らしいデザインをペイントしました。そのお箸を使って豆つかみ大会!環境クイズラリーでは子ども達と直接やりとりをしながら出題しました。コミュニケーションを取りながらの出題が大人気でした。子ども達に環境の大切さがきっと伝わったと思います。

センター開設科目

インターンシップ概論の紹介



CCC では、インターンシップの充実を図り、研修の導入講義として『インターンシップ概論』を開講しています。しかし…、実際は単にインターンシップのみに焦点を当てるのではなく、「自身の将来を考え見つめ直す」機会をねらいとしています。星が丘キャンパスと長久手キャンパスでは、講義内容も多少異なりますが、今回は、両キャンパスに共通する講義の“柱”と、それぞれのキャンパスで受講した学生さんの声の一部をご紹介します。

『インターンシップ概論』

全講義内容はこちら!!!!

星が丘キャンパス 2007 前期受講
医療福祉学部 3 年生 水野里美さん

ゲストスピーカーの方のお話について

授業では実際に会社を立ち上げた 2 人のゲストスピーカーの方が話をされました。ご自身の経験談から、私たちへのアドバイスまで多岐に渡る内容の濃いものでした。学生時代の様々な経験や失敗を乗り越えたからこそ、現在しっかりとした理念の基に会社が成り立っているのだと感じました。

NPO・NGO 業界について

私自身、福祉に興味があり、実際に夏休みに NPO 法人の機関でインターンシップを行いました。ボランティア・NPO に関しては授業でもやりましたが、今回受けた授業では“国際的な視点”と NGO の内容が含まれていたのが、また違った角度から学ぶことができました。改めて地域を基盤とした活動の重要性を理解することができました。

マナー研修、企業の見方について

この研修はビジネスマナーを学ぶと共に、10 年後、20 年後の自分のライフビジョンを段階的に考え、構築する内容でした。この授業を通じて自分のライフビジョンを考えて、実際に表に書いてみたところ目先の将来しか考えていないことが分かり、先のことまで視野に入れて自分の将来を考える必要性を気づかされました。



企業内組織

マナー研修 1 回
(外部講師をお呼びして
基本的マナー・ビジネスマ
ナーを中心に講義)

企業の見方

キャリア研修 2 回
(将来に向けての
自己のキャリア設計等)

自己分析・履歴書・
エントリーシートの書き方

ゲストスピーカー
(地元企業代表取締役をゲスト)

業界研究
(製造業、金融業、サービス業等)

愛知・東海地区の産業・企業

研修先の企業・業界研究発表

NPO・NGO 業界

職業と人生



長久手キャンパス 2007 前期受講
ビジネス学部 3 年生 今田貴文君

自己分析・履歴書の書き方

学生生活で体験したことをできるだけ多く書き出し、その体験から学んだ事をまとめます。体験を通して自分の長所や能力が見えてくるので、それを自己 PR として活用しました。その結果、新しい自分を発見する事ができました。

マナー研修

身だしなみや言葉遣い、お辞儀など基本的な事を学びます。

さらに、企業には営業部や人事部など様々な部署があるので、その部署にあったマナーを事前に習得して研修に参加できるとより良いと思います。

東海地区の企業・産業について

愛知県など東海地区には、モノづくりに秀でた企業が多数あります。全国で 1 位のモノもたくさんあります。このような企業やモノを調べるのもおもしろいと思います。

NEWS

CCC では、学生のインターンシップ経験をまとめた「インターンシップ報告書」を作成しました。自由に閲覧できますので、興味のある方は今後の参考にしてください。



ボランティア活動に参加しました



障害者スポーツセンター サウンドテーブルテニス大会運営のお手伝い



医療福祉学部 3年生 中野恵理子さん

視覚が遮られているとは思えないプレーで皆さん生き生きしていて驚きました。

また機会があったら参加したいです。

サウンドテーブル
テニスの様子⇒



保見団地

外国人児童の健康診断のお手伝い

文化創造学部 2年生 浅井麻衣さん

言葉が通じなかったけれど、ジェスチャーや通訳の人を通して交流をすることができました。親は子どもの健康面にすごく関心を持っていて栄養士さん、医師と熱心に話し合っている光景を多く見ることが出来ました。

一回限りではなく、定期的に参加したいと思いました。

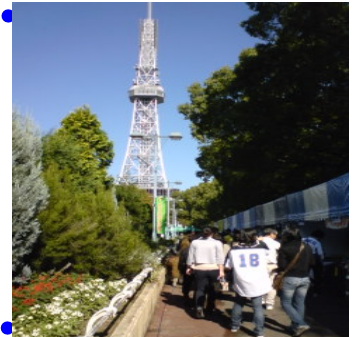


ワールド・コラボ・フェスタ

コミュニケーション学部 3年生 橋口絵里奈さん

ボランティア活動は初めてでしたが貴重な体験が出来ました。私が体験したのは、来客にごみ袋を渡して、ごみを集めて持ってきてもらい、分別するというものでした。綺麗そうに見えて意外にごみが沢山落ちていたことに驚きました。そして細かく分別することが大変でした。このボランティアを通してゴミ問題について改めて考え直すことが出来ました。

ゴミ拾いに出発時の様子⇒



デイサービスセンター利用者の方の外出支援

文学部 1年生 石井弥華さん

おばあさんと一緒にどれを買うか迷ったり、おしゃべりしたりして、とても楽しく活動できました。

今回は、お年寄りのみなさんと一緒に楽しむだけで終わってしまったので、次回は一緒に楽しむつつ何か役に立てるようにしたいと考えています。

一番嬉しかったのは、担当したおばあさんやおしゃべりしたお年寄りが「楽しかった。ありがとう。」とおっしゃって下さった事です。そんなに役に立ってない事を自覚していた私にとって、この一言はとても嬉しいプレゼントでした。この言葉は私の心に陽だまりをくれました。少し大げさですが、そう思いました。

これからのボランティア活動では、やはり「楽しむこと」を大切にしたいです。この気持ちがあることで自分も周囲の人達も笑顔になり心が温かくなるからです。そして、少しずつ人の役に立てるようになりたいです。

「伊勢志摩の海で遊ぼう」子ども達のキャンプ引率

コミュニケーション学部 1年生 中島綾香さん

海に漂流物を拾いに行った時、貝や流木、スナメリの骨をみつけたりと楽しかったが、ペットボトルや缶などゴミがすごく目立っていました。

この活動でテントに泊まったり、海で魚釣りをしたりと初めて体験したことも多かったが環境についても考えさせられました。私達は普段自然のお世話になっているばかりで自然に対して良い事をしていないので、これからは自然を守っていく活動をしてみたいです。

魚釣り終了時⇒
たくさん釣れました！



CCC開設科目授業報告

地域活動総合演習Ⅰ

開講時間：後期火曜 3 限（星が丘）
担当／小林三太郎先生

授業の前半は、基本的な医療制度や医療問題を様々な視点から学びます。そしてその知識を活かし、学外の病院施設の現場見学や病院内レクリエーションの企画・発表を行い、地域における病院の役割を考えます。

「高齢者の方とレクリエーションをする」という言葉を聞いた時にまず何を目的とするかを念頭に置き、「楽しみながら感動もあり、思い出に残せるもの」というテーマで高齢者でも簡単に出来るちぎり絵をみんなで完成させました。

一時間半という限られた時間の中でコミュニケーションを取りながら作業するのは想像していたより大変なことでした。施設の方がどのようなことに興味があるか、どのような話をしたら喜んでもらえるか等を考えながら作業し、常に相手のことを考えて行動することの大切さを学びました。

ちぎり絵が完成した時、施設の方がとても喜んで下さったので、一生懸命企画して良かったと思いました。

文化創造学部 3 年生 竹内夏美さん



↑↑作成したちぎり絵



木村病院の見学では、個人情報を守ったり、医者や看護師の名前や顔を開示していて、患者や利用者に安心してもらう工夫がなされていることを知りました。医療技術だけの問題ではなく、現代の医療には、利用する側に不安を与えないことや精神的なケアも必要とされていることが分かりました。

←高齢者の方との作業時の様子

医療福祉学部 1 年生 山内香奈さん

地域活動総合演習Ⅱ

開講時間：後期水曜日 4 限（長久手）・後期木曜日 5 限（星が丘）
担当／小島祥美先生

地域に暮らす外国人コミュニティでのフィールドワークやボランティア活動を通じ、外国人住民との共生をめざした地域づくりに必要な視点および事業企画・運営能力を養います。

私は今回初めてブラジルのこども達が通う学校に行ってきました。みんなとっても元気がかかったです。

日本語はあまり話せない子もたくさんいましたが、一緒に遊ぼうと誘ってくれる子、なんとかコミュニケーションをとろうしてくれる子、みんなに通訳してくれる子...みんなとっても優しい子でした。私の住む町をあの子達の住みやすい場所にしたいと心から思います。

コミュニケーション学部 2 年生 小林由季さん



↑ブラジル人学校にておりがみ教室

←ブラジルコミュニティ
ラジオ番組に生出演



私は今回のフィールドワークに参加して、福祉の視点からフィリピンから日本への介護士の受け入れについて深く考えるようになりました。日本で介護士として働く時に、習慣の違いなど困ることがあるかもしれません。

そんな時、悩みを相談したり、同じ悩みをもつ人が集まって交流できる場所が地域にあると、安心して生活できるのではないかと強く感じました。

医療福祉学部 1 年生 児玉 紗代さん

お問合せ

E-mail: asccc@asu.aasa.ac.jp

TEL:(星)052-781-1151 (1 号館入口左側)

(長)0561-62-4111 (図書館北側)



ホームページも随時更新中→→→ <http://www.aasa.ac.jp/institution/ccc/index.html>